

Point

J R 東海 大阪修繕車両所分会分会情報

No. 120 2011. 07. 26.

発行責任者 坂東 貞男

編集責任者 教 宣 部

チェックシート、締結部品持出表の充実？から1年！ いまだに慣れない文書類に四苦八苦？！

昨年7月23日付けの技術連絡により、臨時修繕作業用チェックシート（多
種類化）・締結部品持出表（ボルト・ナット等）などが制定され、その後も数
々のチェックシートが増やされたり、「重点作業ポイント集」の配布に伴い
作業担務表の変更があるなど、この一年の間に作業に関する書書類が大
きく変わってきました。

当初の書書類の変更から一年、これらのチェックシートや締結部品持出
表等の書書類に対する現状はどうでしょうか？

残念ながら現在でも、日々、作業前に『必要な書書類は何々か？』『この
作業のチェックシートはあるのかどうか？』等々で四苦八苦し、作業中や確
認中の対面チェックでは、『ここは青丸、赤丸？』『この作業はどのチェック
シートに記入？』『この箇所はし点だけでいいの？』『これは記入が必要？
』等々の声が絶えないのが現状になっています。

安全の為に簡潔かつ完全なチェックシートが必要！！

私たちは、車両修繕のプロです。安全な車両を送り出すためにしっかりし
たチェックが必要なことは誰もがわかっていることであり、そのためのツ
ールとしてチェックシートがあることも理解しています。

ただ、一年経っても「記入法がわかりにくいチェックシート」「安全を保証
するチェックシートにチェック項目が抜けている・間違いがある」、そして「
頻繁にある作業でも正式のチェックシートが用意されていない」など、会
社がチェックシートを本当に重要視しているのか、本気でチェックシートで
安全を守ろうとしているのか、疑問がわいてきます。従って、会社・管理者
がよく言う『チェックシートは品質保証書』というような主張は、現状では
ほど遠いように思えます。

書書類の問題は、チェックシートだけでなく、締結部品を使用しない作業
でも締結部品持出表の提出を指示するなど、社員には理解できない会社の
指示も問題です。このようなことは、作業に伴う書書類を利用して、社員
の「しつけ」「服従」を強いようとしているのではないかとしか思えません。

私たち大阪修繕車両所分会は、電車の安全の為に、誰が見ても記入方が
理解でき、作業者の負担にならない簡潔かつ完全なチェックシートを求め、
これからも声を上げていきます。